

かほく市社会福祉協議会 広報誌

社協だより

2015 No. 27

みんなで築く地域福祉のまちづくり



高齢者健康ウォーキング
仲間とともにウォーキングで
運動習慣を實踐中！
モデル地区で月2～4回
ウォーキングしています
老人クラブ

11月20日 かほく市社会福祉協議会が全国社会福祉協議会会長表彰を受賞しました！
受賞内容：こころに寄り添い「孤独にはさせない！」お話し相手ボランティア事業による見守り活動の強化

内容

- 2 かほく市社会福祉大会・石川県社会福祉大会（報告）
- 3 地域のお茶の間活動スタッフ交流集会
- 3 多職種連携研修会
- 4 かほくっ子ジュニアボランティア体験
- 5 福祉教育プログラム
- 5 ボランティアグループ紹介「遊芸友の会」
- 6 みんな元気に輝いています（各団体の活動報告）
- 7 第4回障がい者交流スポーツ大会
- 8 民生委員児童委員情報





福祉のために尽力されました

第12回かほく市社会福祉大会

10月29日(木)に七塚健康福祉センターにおいて、市民約200名が参加のもと開催しました。

かほく市社会福祉協議会会長表彰22名

社会福祉 団体活動者	金川 壽子	社会奉仕活動者	西村 利江	社会福祉 施設職員	沖野 明美
"	山崎 一平	"	和泉 吉江	"	寺嶋 信子
"	山下 幸治	"	釜田ユキミ	"	長原 文恵
"	室田 和枝	"	古田 満子	保育所職員	今村 望美
"	高崎 悦子	"	林 敏子	保育関係者	浜本 和子
"	大多 健一	"	竹中 洋子	"	東 奈緒美
"	橋爪 宏	"	"	"	澤 千恵子
"	魚野 茂	"	"	"	宮嶋しげの

〔順不同、敬称略〕



講演 「いざという時に支え合える 街づくりを目指して」 ～豊かなコミュニケーション の必要性～

災害時に困らないために日頃からのようなことを心がければよいのか。被災地等での孤立死問題などを通じて、豊かなコミュニケーションの必要性について、改めて考える機会となる講演でした。安心して声や気持ちを表すには、互いを尊重し合い、そして自身も「我慢する・頼らない」などの思い込みから解放されることが大切であり、そこから支え合いが生まれるとのことでした。



講師：石川県立看護大学
教授 武山 雅志 氏

「いざという時に支え合える街づくりを目指して」

石川県社会福祉大会

11月10日(火)に開催された第64回石川県社会福祉大会で、県内福祉関係者等約600名が参加のもと、次のかほく市内福祉関係者が表彰を受けられました。

石川県知事表彰 3名

ボランティア活動者	藤森 延子
"	黒川 冨子
"	村谷 和子

石川県社会福祉協議会 会長表彰 6名

社会福祉事業従事者	山口 優子
"	西川 真弓
ボランティア活動者	城戸 壽子
"	井口 武久
"	北井ケイ子
"	吉田 保子

〔順不同、敬称略〕

厚生労働大臣表彰

次の方が、表彰を受けられました。

民生委員 水上 幸夫

〔敬称略〕

知 得

ふだんの
くらしの
しあわせ



地域のお茶の間活動スタッフ

交流集会

地域のお茶の間活動の魅力を再発見

8月4日(火)、市内で日頃から地域のお茶の間活動を運営されているスタッフ、まだ活動はしていないが興味がある方など28名が集まり、地域のお茶の間スタッフ交流集会を開催しました。

「地域のお茶の間活動の魅力を再発見」いま地域のつながりが大事なワケ」と題した桃山学院大学副学長の松端克文氏による講演では、なぜ地域で集い・交流の場が必要なのか学び、振り返りました。その後、「日頃の活動で感じる苦労・悩み、その解決のヒント」について参加者同士で活発な意見交換をしました。



講演の様子



意見交換の様子

多職種連携研修会

8月3日(月)、石川県社会福祉協議会と共同で多職種連携研修会を開催しました。

市内福祉サービス事業所より24名が参加し、かほく市内での生活困窮者自立支援法の取り組み状況について説明のあと、桃山学院大学副学長の松端克文氏を講師による「いま福祉関係者に求められる視点と実践」をテーマに「いま福祉関係者に求められる視点と実践」と題した講義を行いました。その後の多職種連携による世帯支援に関する事例検討では、参加者の皆さんは限られた時間の中で真剣に取り組んでいました。



桃山学院大学
副学長 松端克文氏



講義の様子



事例検討の様子

ボランティア報告

今日初めてこのボランティアをやり、赤ちゃんとふれあいました。最初は何かしたいのかかわからなくてとまどっていたけど、自分もいっしょに楽しめなからふれあい体験をすることになりました。今日の体験を通して、自分も赤ちゃんのこころに

このようにお世話してもらっていたことに気がつきました。また、今日の体験で赤ちゃんと関わり合えたけど、関係ないということに関わり合えてはいけない理由にはならないということに本当に実感できました。

こんな小さな事でも人の役に立てたのでよかったです。

今後、機会があればもう一度この体験をしたいと思います。

参加児童の感想

自分も、夏祭りを楽しめたけど、何よりも、おじいちゃんやおばあちゃんに喜んでもらえたことがうれしかった。さらに職員さんにたのまれたことを積極的にすることができたので良かったです。夏祭りに来た小さい子や、大人の方、おじいちゃん、おばあちゃんに、ていねいでやさしい対応ができて喜んでもらえて、自分もうれしい気持ちになりました。

今回、「ことぶき園での夏祭りボランティア」に参加させていたいただき、ありがとうございました。

ボランティアは、自己満足するためのものではなく、相手の役に立つものだということを改めて感じました。

今回のボランティアを通じて、みんなと仲良くなれて良かったです。そして、私は、しょうらい福祉関係者の仕事をしてみたいとボランティアをして感じました。このような、きょうな体験ができたのは、ことぶき園のみなさんのおかげです。ありがとうございました。また、機会があればボランティアに参加していきたいです。参加させてくださりありがとうございました。



「10月31日 赤い羽根共同募金活動」

市民の皆さんのご協力で、
11・798円の善意が
寄せられました。



「7/25 小さな子どもたちとのふれあいボランティア」

ボランティアグループまどかの皆さんにご協力いただきました



「7/31 ことぶき園での夏祭りボランティア」

来園者の方にも積極的に声をかけていましたよ



「8/6 かほく市身体障害者部会フライングディスク大会でのボランティア」

審判のお手伝いもしました



「8/20 障がい者交流スポーツ大会でのボランティア」

選手と同じ気持ちで球の行方を追っています

今年度は、5つのボランティア活動体験の中から、市内の小学5、6年生延べ35名がそれぞれ興味のあるボランティア活動に参加をしました。

かほくつ子ジュニアボランティア体験事業

福祉教育プログラムでは、地域のみなさんが、おたがいさまの心でつなぎみんなで支えあうまちを目指して、地域の身近な福祉について学びます。

福祉教育プログラム

10月17日

平野友明さん・克美さんご夫妻、介助犬タフィを迎え、障がいの理解、介助犬の理解を目的とした講演会を行いました。
平野さんがご自身の障がいについて、またタフィとの生活について講演し、その後タフィのデモンストラクション（床に落ちた携帯電話を拾う、カバンから財布を取り出すなど）を行いました。
補助犬（介助犬、盲導犬、聴導犬）を見かけても、仕事に集中してもらいために、「さわらない」「食べ物を与えない」「声をかけない」という『あたたかい』見守り』をしてもらうよう、参加者のみなさんに呼びかけていました。



好きです！ボランティア

ボランティアグループ紹介

遊芸友の会

つながろう ボランティアの輪



私たちは高齢者福祉施設や障害者支援施設へ訪問し、歌、踊りを中心に活動しているグループです。設立して12年。会員は12名。県内の施設利用者の皆さまに喜んで頂けるよう日々頑張っています。行く先より喜びと励ましの言葉を頂き、また頑張ろうという気持ちになります。

代表▼福井 逸雄

☎080-6364-3500



みんな元気で輝いています！

団体の活動を紹介

老人
クラブ



中学生と盛り上がる

9月12日、河北台中学校のJRC委員を中心とした生徒20名と七塚地区老人クラブ会員が「バツゴ」を通じて交流しました。今回は男子生徒が多く参加し、一段と活気良く盛り上がりました。

防災訓練を実施



今年度は、心肺蘇生法及びAEDの使用方法また、災害時にできる支援として、癒しハンドケア、ホットタオルのつくり方、リラクゼーション、タオルケットや毛布を使ったガウンのつくり方等を学びました。

赤十字
奉仕団

靖国神社参拝旅行

戦後70周年の節目にあたり、会員等36名が戦没者追悼のため、10月25日に靖国神社へ参拝してきました。参加者は、靖国神社での参拝のあと千鳥ヶ淵墓苑に立ち寄るなど、この旅行を通じて戦没者を偲びました。



遺族会

かほく市社会福祉協議会は各福祉団体の活動がきめ細かく推進できるように支援を行っています。

共同募金 情報

歳末たすけあい募金にご協力をお願いします



10月1日から「赤い羽根共同募金」運動が実施されています。また、12月1日からは「歳末たすけあい募金」運動が始まりました。

「歳末たすけあい募金」は、支援や援助を必要とされているかほく市内のご家庭、施設を利用されている方、障がいのある方や子供たちのために役立てられます。

みなさまのあたたかい善意をお願いします。



お問い合わせ 石川県共同募金会かほく市共同募金委員会（かほく市社会福祉協議会内）TEL：076-285-8885

第4回障がい者交流スポーツ大会

市内の施設や団体から7チームが参加して、
スポーツで交流を深めました。

8月20日(木)に「第4回障がい者交流スポーツ大会」を開催しました。今年度は、市内の施設や団体から7チーム64名が参加して、風船バレーやスカットボールの競技を通じ親睦を深めました。ボランティアとして、市内の小学生3名と宇ノ気中学校の生徒3名が競技のサポートを行ってくれました。今年は子どもたちの参加も多く、ボランティアも含め様々な世代の交流となり、より賑やかなスポーツ大会となりました。そんな中、優勝を勝ち得たのは今年初参加の「七施の杜」のみなさんです。おめでとうございます！

参加チーム

- ・かほく市身体障害者部会
- ・かほく市リハビリ友の会
- ・かほく市肢体不自由児者父母の会からーず
- ・ライフクリエートかほく
- ・チェンジA
- ・白千鳥会
- ・七施の杜

風船バレー競技



総合優勝チーム
「七施の杜」



ボランティア募集中！

場 所	住 所	内 容
● 社会福祉法人四恩会 チェンジA	かほく市遠塚二13番地2	ゲーム、レクリエーション、外出支援など、 障がいをお持ちの利用者さんの支援
● 社会福祉法人眉丈会 ケアハウス海青	かほく市秋浜へ20番地3	買い物ドライブ、余暇活動の支援など、
● グループホーム たから	かほく市白尾ナ42番地1	シーツ交換など

お問い合わせ

ボランティアセンター (285-8885)

身近な存在である、民生委員児童委員の役割について、ご紹介します。

民生委員法上の職務

1. 住民の生活状態を必要に応じ適切に把握しておくこと
2. 生活に関する相談に応じ、助言その他の援助を行うこと
3. 福祉サービスを適切に利用するために必要な情報の提供、その他の援助を行うこと
4. 社会福祉事業者と密接に連携し、その事業又は活動を支援すること
5. 福祉事務所その他の関係行政機関の業務に協力すること
6. その他、住民の福祉の増進を図るための活動を行うこと



民生委員の活動

社会奉仕の精神をもって、常に **住民の立場** に立って相談に応じる。(民生委員法 第1条)

70歳以上 一人暮らし高齢者の援助

- ・情報の提供
- ・月一回程度の訪問
- ・地域ケア会議への参加

生活状況の把握

- ・70歳以上二人暮らし高齢者の把握
- ・生活保護受給世帯の把握

地区民生児童委員協議会 定例会

- ・事例検討
- ・意見交換
- ・事務連絡

その他世帯の訪問

- ・行政からの依頼
- ・社協からの依頼
- ・ケアマネジャーからの依頼

地域福祉推進員 との連携

- ・情報の共有
- ・活動支援

調査・実態把握への協力 (証明事務含む)

- ・母子世帯の状況確認
- ・福祉資金貸付世帯の状況確認

歳末たすけあい募金への 協力

- ・要介護4、5世帯訪問
- ・障害児(者)世帯訪問
- ・気になる世帯訪問

研修会への参加

- ・民生委員児童委員研修会
- ・児童問題研修会
- ・地域福祉推進研修会
- ・権利擁護研修会 他

あたたかいご芳志ありがとうございました。

次のみなさまから福祉向上にとご寄付いただきました。(順不同)

平成27年7月1日～平成27年11月15日受付分

● かほく市まつり実行委員会 様

● 市内匿名 1名

次のみなさまからプルタブ収集にご協力いただきました。

● プルタブ 河北台中学校 様

ほか多くの市民のみなさまからプルタブや使用済み切手、使用済みインクカートリッジの収集にご協力いただきました。